防　火　管　理　の　計　画　書

特定供給設備

容器の場合

１．目　　的

 この計画は、特定供給設備における液化石油ガスの貯蔵取扱いに関し、防火上必要なことを

　定め、これを実行することにより、災害の防止と被害の軽減をはかることを目的とする。

２．防火管理の監督等

 (1) ○○営業所所長は、液化石油ガスの貯蔵、取扱いに関する防火管理業務を総括し、業務主任者（業務主任者が旅行、疾病その他の事故によってその職務を行うことができない場は、業務主任者の代理者が代行する。以下同じ。）をして、その監督にあたらせるものとする。

 (2) 業務主任者は、液化石油ガスの貯蔵、取扱いの作業をするすべての従業員を掌握し、ＬＰ

　　ガス協会等の講習を受けるほか、常に防火についての知識の高揚に努め、必要に応じ適確な

　　保安上の指示を与え、施設の保安の確保についての責任を十分果たすよう努めなければなら

　　ない。

３．自 主 点 検

 (1) 業務主任者は、特定供給設備の点検を１箇月に１回以上、別表に定める自主点検記録表に

　　よって実施しなければならない。

 (2) 業務主任者は、前項の自主点検を行ったつど自主点検記録表を○○営業所所長に提出しな

　　ければならない。

 (3) ○○営業所所長は、自主点検記録表の内容を検討し、災害予防上必要あると認められる事

　　項については、ただちに改修等の措置を講じなければならない。

４．液化石油ガスの貯蔵等

 液化石油ガスの貯蔵、取扱いは、次により行わなければならない。

 (1) 充てん容器等は、転倒、転落、衝撃を受けないように措置すること。

 (2) 貯蔵設備内には、温度計を備え温度を常に40度以下に保つこと。

 (3) 貯蔵設備内には、容器以外のものをみだりに置かないこと。

 (4) 貯蔵設備内では、絶対に火気を使用しないこと。

 (5) 貯蔵設備の周囲では、火気を使用する作業等をしないこと。

 (6) 貯蔵設備の消火器は毎月１回以上点検すること。

５．災害時の処置等

 火災等の災害が発生し、又は発生のおそれがある場合の応急処置は次のとおりとする。

 (1) 消防機関への通報

 (2) 初期消火活動

 (3) 避難誘導に関すること。

 (4) 消防隊の誘導に関すること。

 (5) その他

６．消防機関への連絡等

 (1) 液化石油ガス販売事業者は、常に消防機関との連絡を密にし、より防火管理の適正化をは

　　かるよう努めなければならない。

 (2) 消防職員の立入検査を受けるにあたっては、○○営業所所長又は業務主任者が立会い、災

　　害の予防に関し、指導を受けなければならない。

 (3) 教育計画

 業務主任者は、すべての従業員に対し、液化石油ガスの災害予防に関する必要な知識及び

　　技能を収得させるために毎月１回以上教育を実施するとともに、この結果を記録しておかな

　　ければならない。

|  |
| --- |
| 別　表 |
| 自　　主　　点　　検　　記　　録　　表 |
|  |
| 　 | 　 | 点　検　月　日 　月／日 | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ |
| 　 | 　点検項目 | 点　検　者　印 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 販売事業者確認印 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 1 | 特定供給設備の警戒標は所定の場所に掲げられているか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 2 | 特定供給設備の警戒標の文字は鮮明か。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 3 | 貯蔵量は許可を受けた貯蔵量を越えていないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 4 | 第１種保安物件又は第２種保安物件との距離は適当か。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 5 | 貯蔵設備は火気取扱施設から８ｍ以上の距離があるか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 6 | 貯蔵設備内の容器は転倒のおそれはないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 7166 | 貯蔵設備の周囲に可燃物、ドラムかん等が放置されていないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 8 | 貯蔵設備内に作業に必要な物以外を置いていないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 9 | 貯蔵設備の屋根は破損していないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 10 | 貯蔵設備の扉は正常に開閉できるか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 11 | 貯蔵設備の出入口は容器の持出に支障はないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 12 | 貯蔵設備内の温度は適正か。（40℃以下） | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 13 | 貯蔵設備内の電気設備は異常ないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 14 | 貯蔵設備内で特に異状な臭いはしていないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 15 | 貯蔵設備内の消火器は所定の場所にあるか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 16 | 貯蔵設備内の消火器の標示は有効か。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 17 | 貯蔵設備内の消火器は有効に使用できるか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 18 | 貯蔵設備の換気口は有効に作用しているか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 19 | 貯蔵設備の床は破損していないか。 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  備考　点検項目に異常のあった時は×印を記入のこと。 |

特　　　記　　　事　　　項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  点 検 以 外 の 記 録 事 項 | 月 日 | 項 　 目 | 内　　　　容 （処　　置） |
|  |  |  |

 備考　特記事項についてはできるだけ詳細に記入すること。